令和5年(2023年)10月31日

# AOGS 2023 参加報告

氏名：矢倉　昌也
所属：太陽宇宙環境物理学研究室（D1）
滞在期間：令和5年7月30日〜8月5日
滞在先：ホテル mi
滞在国：シンガポール

2023年前期若手海外派遣支援プログラムのもと、私はシンガポールで開催された Asia Oceania Geosciences Society 2023 (AOGS 2023) 20th Annual Meeting にてポスター発表と議論を行った。

ポスター発表は、“ST01: Particle Acceleration and Transport at the Sun and in the Heliosphere”というセッションで、“Evolution of the Electron Acceleration Site in Solar Flares by Using Time-of-flight Analysis with Multiple Time-windows”という題で行った(図１)。Time-of-flight は、Aschwanden et al. 1996a などで用いられた、電子の飛行時間差から太陽フレア中の粒子加速点とX線放射点の距離を推定する解析手法だ。本研究はこの距離の時間変化を改良した Time-of-flight を用いて推定するものである。本学会では、この解析を複数のフレアイベントに対し実施した結果を報告した。発表には太陽フレア中の粒子加速やX線放射を研究している方々が来てくださり、推定の精度を上げる方法や解析条件などに関して議論・コメントをいただいた。

また、発表日以外には太陽に関する発表の聴講・議論も精力的に行った。本学会には中国から参加している方が多かったため、昨年打ち上げられた中国の太陽観測衛星“ASO-S”に関する知見を特に深めることができた。ここで得られた知見を今後の自分の研究に活用していく所存である。

加えて、本学会では Mentoring Program が設けられていたため、これを活用し数名の研究者・学生との交流も行った。この Program での30分ほどと短いものではあったが、海外の研究者の様子や使用している装置などに関してお互いの情報を共有することができ、とても意義深い交流となった。

今回の渡航は私にとって初めての海外での学会であった。日本国外の研究者が興味を持っている問題や考え方を肌身で知ることができ、研究に必要な国際観を養う貴重な機会になったと痛感している。

最後に、このような機会を与えてくださった ISEE 国際連携研究センターの皆様、指導教員である増田准教授、渡航前・渡航中にサポートしてくださった防衛大学校の渡邉准教授、そして支えてくださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

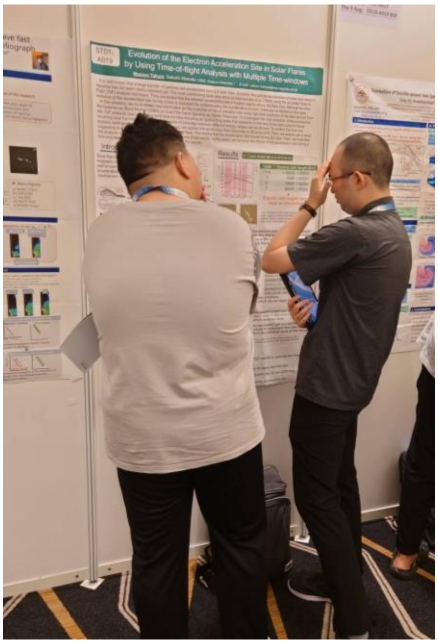


図 1　議論の様子

## ＜参考文献＞

1)　Aschwanden, M. J., Hudson, H., Kosugi, T., & Schwartz, R. A. 1996a, ApJ, 464, 985

## ＜指導教員＞

増田　智